

設立15周年記念

令和3年度 ごみ減量・もったいないねット山形 総会 ～手を取り合って さらに前へ～

日時：令和3年5月30日（日）

午前9時30分～

会場：山形市役所11階大会議室



（ごみ減量すすむくん・かなえちゃん“かるた”から）

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 令和2年度事業報告（案）及び
収支決算報告（案）について
監査報告 |
| 第2号議案 | 令和3年度事業計画（案）及び
収支予算（案）について |

令和2年度役員

(令和2年5月30日選任)

会 長	副会長	幹 事	監 事
金 澤 和 子	長 瀬 洋 子 松 田 和 巳	鹿 野 順 子 齋 藤 淳 鈴 木 隆 男 中 村 明 千 荒 井 安 雄	渡 辺 明 渡 部 和 生

会員数

時点	個 人	団体	事業者	計
設立総会時	35人	14団体	13事業者	62
R2.4.30	497人	38団体	172事業者	707
R3.4.30	495人	38団体	171事業者	704

令和2年度部会体制

部 会	部会長	副部会長
買い物エコフレンド部会	中 村 明 千	早 坂 恵美子 武 田 さおり
5 R 情 報 発 信 部 会	鈴 木 隆 男	上 野 清 子 井 上 英 俊
ごみ減量学習部会	齋 藤 淳	佐 藤 弘 子 木 村 榮
広 報 部 会	荒 井 安 雄	伊 藤 美代子 大 滝 和 子
ごみ減量アドバイザー部会	鹿 野 順 子	越 後 恵 美 畠 山 優 子

第1号議案

令和2年度事業報告（案）

※報告中、事業の中止・延期（網掛け部分）および変更（下線部分）は全て、
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による

1 総会・役員会

項 目	区分	期 日	内 容
総 会		6 月 3 日	書面決議
第1回役員会		4 月 1 5 日	総会議案及び実施方法について
第2回役員会		6 月 2 5 日	今後の事業計画について
第3回役員会	拡大	1 1 月 1 2 日	会全般及び部会活動について
第4回役員会		2 月 1 5 日	令和2年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3 月 1 8 日	令和3年度の事業計画及び総会について

2 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
イオン幸せの黄色いシートキャンペーン寄贈受入（イオン山形北店分）	4 月 9 日	令和元年度分受領額 43,700 円 ※電子マネー（使用期限：4 月 30 日）
イオン幸せの黄色いシートキャンペーン寄贈受入（イオン東北（株）分）	4 月 2 1 日	令和元年度分受領額 128,100 円 ※電子マネー（使用期限：翌年 2 月末日）
ごみ減量ロビー展 (中止)	6 月 3 日 ～ 5 日	〔市役所 1 階 エントランスホール〕 ブース設置、パネル展示、分別クイズ、エコいけばな、 ごみ減量等啓発品配布、DVD 上映
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	6 月 2 日 ～ 7 月 1 0 日	〔中央駐車場 ウィンドウディスプレイ〕 本会活動のパネルおよび風呂敷マイバッグ等の展示
30・10 運動啓発用コースター 受入式	7 月 1 4 日	〔山形市役所 特別応接室〕 山形環境保全協同組合様（本会会員）、山形市再生資源協同組合様（本会会員）より、新しい生活様式に対応した「30・10 運動啓発用コースター（デザイン案作成：広報部会）」が山形市へ寄贈され、山形市と本会が連携して市民へ広く啓発を行うため、市長より当会へコースターが進呈された。
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	1 0 月 1 日 ～ 3 0 日	〔中央駐車場 ウィンドウディスプレイ〕 本会活動のパネル及び食品ロス削減運動に関する展示
食品ロス削減啓発用紙芝居寄附 受入式	1 0 月 2 1 日	〔山形市役所 特別応接室〕 本会より山形市へ、食品ロス削減啓発用紙芝居（広報部会作製）を寄贈
令和2年やまがた環境展参加 → (変更) 令和2年やまがた オンライン環境展参加	1 0 月 2 6 日 ～ 2 7 日 → (変更) 1 0 月 3 0 日～ 1 月 3 1 日	〔山形国際交流プラザ→(変更) 特設 Web サイト〕 主催：令和2年やまがたオンライン環境展実行委員会 山形市との連携によるブース出展（パネル展示、ワークショップ、分別クイズ） → (変更) 会の概要や5つの部会の活動について 紹介し、動画や情報誌、エコぬりえなどを掲載

項 目	開 催 日	摘 要
ごみ減量・もったいないキャンペーン (店舗受入停止のため中止)	1 1 月上旬	[イオン山形北店] 同店周年祭へのブース出展(リサイクルクイズ、ワークショップの実施、30・10運動等啓発活動)
食品ロス削減啓発用紙芝居寄附贈呈式・読み聞かせ会	1 1 月 1 6 日	[羽陽短期大学附属鈴川第2幼稚園] 本会より山形市私立幼稚園・認定こども園協会へ、食品ロス削減啓発用紙芝居を寄贈し、園児への読み聞かせ会を開催
第12回ごみ減量すすむくん・ かなえちゃんかるた大会共催 (翌年度へ延期)	8 月 → 2 月	[市総合スポーツセンター武道場] 主催：山形中央ライオンズクラブ(本会会員) 共催：本会 後援：山形市、山形市教育委員会
第13回やまがた市民活動まつり参加	2 月 2 0 日 ～ 2 8 日	[霞城セントラル1階アトリウム → (変更) <u>山形駅東西自由通路アピカ</u> (28日は霞城セントラル1階アトリウム)] 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 共催：山形市、山形市市民活動支援センター ブース出展(活動紹介)、分別クイズ、ごみ減量等啓発品配布 → (変更) <u>活動紹介ポスター2種類を展示</u>
広報やまがた掲載(山形市発行)	随 時	特集記事 会の活動紹介など



(30・10運動啓発用コースター受入式)



(食品ロス削減啓発用紙芝居読み聞かせ会)

3 各事業部会

部会ごとにスタッフが主体となって、企画・準備から各事業実施までを行った。

(1) 買い物エコフレンド部会 企画会議：4回

新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントへの参加や店頭キャンペーンなど、市民と直に接する活動が制限されることとなったが、部会に所属する事業者会員から身近なプラスチック製容器包装に関する最新の情報を提供いただくなどして、消費者・事業者・行政が連携したごみ減量とリサイクルを推進していくための自己学習を行った。

また、その中で得た知識をもとに、食品用容器リサイクル（店頭回収）のマナー向上を呼びかけるチラシを新たに作成した。

項 目	期 日	摘 要
① ごみ減量ロビー展への協力 (ロビー展が開催されなかったため中止)	6月3日 ～6月5日	[山形市役所エントランスホール] 本会ブース全般について広報・啓発 (雑がみ分別や食品用容器リサイクル、事業者会員パネル等の紹介)
② 食品トレーリサイクルキャンペーン (感染拡大防止および店舗受入停止のため中止)	6月～7月	[市内スーパー] 食品用容器の分別パネルを展示し、店頭回収利用とマナーアップの呼びかけ、啓発品の配布を行う。 *事業者・山消連・山形市と連携
③ 雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン →(変更)リサイクル推進キャンペーン (感染拡大防止および店舗受入停止のため中止)	10月～11月 →10月	[市内スーパー・小売店] 雑がみリサイクル・簡易包装推進の呼びかけ、啓発品の配布 *事業者・山消連・山形市と連携 →掲示物や配布する啓発品を工夫し、ごみ減量とリサイクルについて幅広く呼びかけを行う。
④ キャンペーン時配布用啓発品の作成・配布	6月～12月	食品用容器リサイクル啓発チラシ 作成枚数：5,000枚

【延べ33名スタッフ協力】



(企画会議)



(啓発用チラシ作成会議)



(食品用容器リサイクル
啓発用チラシ)



(2) 5 R情報発信部会 企画会議：4回

部会スタッフが、もったいないマップに掲載されている市内事業者のごみ減量や資源の再利用の取組み（5 R）について、取材した。今年度は、新型コロナウイルスの影響で在宅時間が増え、家の片づけをするようになった方も多くみられたことから、リユースやリサイクルに取り組むショップなども取り上げ、情報誌に掲載し情報の発信を行った。

また、平成30年度にリニューアルした入会案内チラシの一部修正と増刷を行った。今年度は、当会事業の中止等により、完成したチラシを配布する機会が限られたが、情報誌第27号郵送時に同封し、会員から友人や知り合いの方へ入会の呼び掛け行っていただくよう依頼し、会員拡大に努めた。

項 目	期 日	摘 要
① 各種団体等の情報収集	6月～3月	対象：市内の事業者、各種団体等（マップ掲載事業者取材実施：4事業者）
② 情報誌、SNS、ホームページによる情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③ ごみ減量もったいないねット山形入会案内チラシの増刷	9月～11月	作製枚数：5,000部 情報誌第27号郵送時に同封し、会員から友人等へ新規入会の呼び掛けを依頼したほか、市役所等に設置

【延べ 29名スタッフ協力】



（企画会議）



（取材風景）



（ごみ減量・もったいないねット山形入会案内）

(3) ごみ減量学習部会 企画会議：5回

ごみ分別の現状を学び、また、資源の再利用について自ら体験することで、家庭や地域、職場などでごみ減量の取組みを広めるため、各種事業を実施した。

なお、事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、一般公募や施設見学の中止、部会員が研鑽を深めるための講演会・体験教室の開催など、一部内容を変更しながら行った。

項 目	期 日	参加者	摘 要
① ごみ減量学習会 (中止)	6月16日	-	「自動車廃材を活用したライフジャケットの開発 (海洋プラスチック問題)」
② リサイクル関連 施設研修会 (事前 準備含む) → (変更) リサイク ルに関する研修 会	10月8日 → (変更) 9月 29日	12名	リサイクルに関連する施設を見学 → (変更) リサイクルとごみ分別に関する講演会を実施 「自動車廃材を活用したライフジャケットの開発&バリアフリービーチの構築 (ドリームやまがた里山プロジェクト 高橋雅宣氏)」 「適切なごみ分別について (市ごみ減量推進課職員)」
③ リサイクル体験 教室 (エコクッキ ング教室) → (変更) リサイク ル体験教室 (エ コ工作)	全3回 11月18日 11月27日 12月3日 → (変更) 11月30日	19名	エコクッキング教室 → (変更) エコ工作教室 「廃シートベルトを活用したレジャーチェアの製作 (NPO 法人山形自立支援創造事業舎 代表齋藤淳氏)」

【延べ72名スタッフ協力】



(企画会議)



(リサイクルに関する研修会)



(リサイクル体験教室)



(エコ工作 作業風景)

(4) 広報部会 企画会議：4回

会の活動やごみ減量等の取り組みの発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めるため、1年間の活動の成果を伝える情報誌（年2回）のほか、これまで主としてきた「対面式の啓発活動」を補完しコロナ禍の中でも会の活動を広く伝えるため、特別号（15年の歩み）の発行を行った。

また、就学前の子どもたちに「食の大切さ」を伝え、幼いころからの意識づけを行うため、「食品ロス削減啓発用紙芝居」を作成し、市内子育て施設や図書館などへ寄贈した。

なお、これまで継続的に取り組んできた「30・10運動」について、新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた「新しい生活様式編」を考案し、「宴会編」からの切り替えを行った。

項 目	期 日	摘 要
① フェイスブック・ホームページによる情報発信	随 時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
② 30・10運動～新しい生活様式編～のコースター作成	7月	デザイン案作成
③ 情報誌の発行	11月、 3月（2回）	第27号、第28号 各4,000部 特別号（15年の歩み）2,000部
④ 食品ロス削減啓発用紙芝居の作成	9月～11月	作成数：150セット

【延べ31名スタッフ協力】



（企画会議）



（情報誌 第27号・第28号）



（食品ロス削減啓発用紙芝居）



（食品ロス削減啓発用紙芝居作成の様子）

(5) ごみ減量アドバイザー部会 企画会議：4回

ごみの減量や資源の再利用の必要性、実践方法を広めるため、本会会員の中から「ごみ減量アドバイザー」を登録し、市内の各任意団体やPTAを含む学校などが主催する「ごみ減量に関する学習会」に派遣した（計5回、延べ47名参加）。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「もったいないアカデミー」公募および部会員同士で見聞を広めるための勉強会は取りやめとしたが、勉強会の一環として企画していた「食品ロス削減啓発用紙芝居読み聞かせ動画」の製作は引き続き行い、オンラインでの情報発信や学習題材等に活用することとした。

項 目	期 日	参加人数	摘 要
① 派遣制度のPR	随 時	—	派遣制度PRチラシ、ラジオ等
② 新規アドバイザー募集	～7月	—	
③ スキルアップ研修会 及び新規アドバイザー登録証交付式	7月22日（水）	13名	アドバイザーのための研修会 新規アドバイザー2名登録
④ アドバイザー派遣	9月10日（木） [明治コミュニティセンター]	8名	エコ石鹸づくり 「食廃油から石けん作り」
	9月27日（日） [第九中]	14名	第九中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	10月9日（金） [第一中]	12名	第一中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	11月20日（金） [遊学館]	9名	山形県健康生きがい作りアドバイザー協議会 「エコいけばな制作」
	12月18日（金） [遊学館]	4名	山形県健康生きがい作りアドバイザー協議会 「エコ短歌で生き生きブレインを育てよう」
⑤ もったいないアカデミー	1月～2月 →（変更）2月	-	ごみの減量とリサイクルの学習会 →（変更）部会員同士が見聞を広めるための勉強会（参加者は部会員のみとし、エコクッキング、紙芝居読み聞かせ演習、食品ロス削減啓発用紙芝居動画製作を企画） →（変更）食品ロス削減啓発用紙芝居動画製作のみを実施

【延べ21名スタッフ協力】



（企画会議）



（エコ石けん作り）



（エコ短歌）

令和２年度収支決算報告（案）
（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)－(A)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	30,220	△ 33,780	
	繰越金	29,619	29,619	0	令和元年度より
	その他収入	34,381	601	△ 33,780	傷害保険精算返戻金、預金利子
合 計		1,664,000	1,630,220	△ 33,780	

支出の部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)－(A)	摘要
大科目	中科目				
管理費		475,000	472,202	△ 2,798	
	会議費	240,000	238,362	△ 1,638	資料印刷費等
	事務費	115,000	113,994	△ 1,006	OA機器リース代、傷害保険料、事務用品
	通信費	120,000	119,846	△ 154	総会等資料郵送費
事業費		1,184,000	1,128,078	△ 55,922	
	広報事業費(広報部会)	361,000	417,293	56,293	HP管理・更新代、情報誌(27号・28号・特別号)印刷・郵送費等（※1）
	実践活動事業費	788,000	640,785	△ 147,215	
	(買い物エコフレンド部会)	70,000	69,091	△ 909	キャンペーン用啓発品作成費
	(5R情報発信部会)	58,000	57,890	△ 110	5R情報発信用啓発品作成費、各種団体等の情報収集用経費
	(ごみ減量学習部会)	195,000	94,917	△ 100,083	リサイクル体験教室等開催経費
	(ごみ減量アドバイザー部会)	150,000	140,953	△ 9,047	アドバイザー派遣・もったいないアカデミーの開催必要経費
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	315,000	277,934	△ 37,066	食品ロス削減啓発品作成費、
	減量すすむくん基金 繰出金	35,000	70,000	35,000	(※2)
	予備費	5,000	0	△ 5,000	
合 計		1,664,000	1,600,280	△ 63,720	

※1 「情報誌特別号」を作成し、参加者公募型の啓発事業に替わる啓発ツールとして活用するため、実践活動事業費(ごみ減量学習部会)から広報事業費へ予算流用を行った。

※2 感染症に対応したメンテナンスを施した着ぐるみ活用を年度当初の事業にて行うため、実践活動事業費(ごみ減量啓発グッズ作製)から減量すすむくん繰出し金へ予算流用を行った。

収入金額	1,630,220 円
支出金額	1,600,280 円
差引金額	29,940 円(令和3年度に繰り越し)

【特別会計】令和2年度減量すすむくん基金収支決算報告（案）
（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)－(A)	摘要
ごみ減量すすむくん寄付金	8,263	0	△ 8,263	減量すすむくん着ぐるみクリーニング代充 当を目的として
その他収入	37,737	72,737	35,000	
繰越金	2,737	2,737	0	令和元年度より
繰入金	35,000	70,000	35,000	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	46,000	72,737	26,737	

支出の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)－(A)	摘要
着ぐるみクリーニング費	46,000	0	△ 46,000	
合 計	46,000	0	△ 46,000	

収入金額	72,737 円
支出金額	0 円
差引金額	72,737 円（令和3年度に繰り越し）

監 査 結 果 報 告 書

令和2年度ごみ減量・もったいないねット山形の収支決算について、関係帳簿、預金通帳等を監査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されておりましたので、報告します。

ごみ減量・もったいないねット山形
会 長 金澤 和子 様

令和3年々月5日

ごみ減量・もったいないねット山形

監 事 渡部和生



監 事 渡部 明



令和3年度事業計画（案）

1 運営方針

- ◎ 5つのR（リフューズ〔Refuse：辞退〕、リデュース〔Reduce：発生抑制〕、リユース〔Reuse：再使用〕、リペア〔Repair：修理〕、リサイクル〔Recycle：再生利用〕）を推進する取り組みを市内全域に広めます。
- ◎ 物を大事に、感謝する心、リスペクト【Respect】を大切にライフスタイルやビジネススタイルを見直します。
- ◎ 会や会員の情報を発信・共有し、会員や活動の輪を広げます。
- ◎ 「もったいない」という共通の認識のもとに、会員の声を聞き、開かれた運営を行います。

2 総会・役員会

項 目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議
第1回役員会		4月12日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	8月	部会活動について
第3回役員会		11月	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	1月	令和3年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月	令和4年度の事業計画及び総会の進め方について

3 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
設立15周年記念～手を取り合 って さらに前へ～ ごみ減量ロビー展	5月28日・ 30日・31日	会場：山形市役所1階エントランスホール 内容：エコいけばな展示、雑がみ・食品トレーリ サイクル紹介、会員企業の取り組み紹介
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	5月～6月	山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイにお ける本会の活動紹介
令和3年度やまがた環境展参加	10月	会場：山形国際交流プラザ 主催：令和3年度やまがた環境展実行委員会 「環境活動・啓発・体験ゾーン」にブース出展 パネル展示、ワークショップ、分別クイズ実施
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	10月	山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイにお ける本会の活動紹介
第12回ごみ減量すすむくん ・かなえちゃんかるた大会	時期未定	かるた大会 会場：市総合スポーツセンター武道場 主催：山形中央ライオンズクラブ 共催：本会 後援：山形市、山形市教育委員会
第14回やまがた市民活動まつ り参加	未 定	ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介 会場：霞城セントラル1階アトリウム 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 共催：山形市、山形市市民活動支援センター
食品ロス削減啓発用紙芝居活用	通 年	読み聞かせの実施や動画の有効活用を積極的に 実施する。
広報やまがた掲載（山形市発行）	随 時	特集記事 会の活動紹介等

4 各事業部会

(1) 買い物エコフレンド部会

店頭回収の取組みや簡易包装の推進など、事業者と消費者が取り組める行動の情報を共有します。また、買い物袋持参の拡大・定着等の取組みを通し、消費者・事業者・行政という皆が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指します。

項 目	期 日	摘 要
①設立15周年記念～手を取り合って さらに前へ～ ごみ減量ロビー展	5月28日 ・30日・31日	食品用容器や雑がみのリサイクルについての啓発活動
③リサイクル推進キャンペーン	7月～10月	市内スーパーにて食品用容器や雑がみのリサイクルについて呼びかけ、啓発品の配布
⑤食品用容器リサイクル店頭 掲示用ポスター作成	6月～12月	小売店等の店頭へ掲示する「食品用容器リサイクル啓発ポスター」の作成・配布

(2) 5R情報発信部会

市内のNPO、各種団体、事業者団体等のごみ減量や資源の再利用の取組み（5R）について、情報を収集・発信し、消費者及び事業者が利用できるごみ減量等の取組みの拡大を目指します。

項 目	期 日	摘 要
①各種団体等の情報収集	6月～3月	対象：市内のNPO、各種団体、事業者等
②情報誌、SNS(ソーシャルネットワークサービス)による情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③もったいないマップVer. 6 の改訂	6月～2月	修正・削除等によるもったいないマップの見直し

(3) ごみ減量学習部会

ごみ分別の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、家庭や地域や職場等においてごみ減量等の取組みを実践します。

項 目	期 日	摘 要
①リサイクル関連施設研修会 と学習会の実施	7月27日	リサイクルに関連する施設を見学し、ごみ減量やリサイクルについて学習する。
②リサイクル体験教室	10月12日	創作活動

(4) 広報部会

情報誌や様々な情報媒体を通して、会や会員の活動情報やごみ減量等の情報を発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めます。

項 目	期 日	摘 要
①フェイスブック・ホームページによる情報発信	随 時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
②情報誌の発行	1 1 月、3 月	第 2 9 号、第 3 0 号 各 4, 0 0 0 部
③ごみ減量啓発グッズの作成	6 月～1 2 月	食品ロス削減啓発グッズの作成
④各種取材	随 時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

(5) ごみ減量アドバイザー部会

ごみの減量や資源の再利用の必要性や実践方法を会員自らが学び、地域や学校等においてごみ減量の取組みを広めます。

項 目	期 日	摘 要
①アドバイザー派遣	随 時	地域の集まりや学校など
②新規アドバイザー募集	5 月～6 月	
③スキルアップ研修会および新規アドバイザー登録証交付式	7 月	アドバイザーのための研修会
④もったいないアカデミーの開催	1 月～2 月	もったいないアカデミー開催
⑤派遣 PR チラシ作成	8 月～	派遣 PR チラシ作成・配布

令和３年度収支予算（案）
（令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで）

収 入 の 部

（単位：円）

科 目		3年度 予算額 (A)	2年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	64,000	0	
	繰越金	29,940	29,619	321	令和２年度より
	その他収入	34,060	34,381	△ 321	学習会等参加費、預金利子
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

支 出 の 部

（単位：円）

科 目		3年度 予算額 (A)	2年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		485,000	475,000	10,000	
	会議費	250,000	240,000	10,000	資料印刷費等
	事務費	115,000	115,000	0	事務用品、OA機器リース、傷害保険料
	通信費	120,000	120,000	0	資料等送付費
事業費		1,174,000	1,184,000	△ 10,000	
	広報事業費(広報部会)	366,000	361,000	5,000	HP管理更新、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	758,000	788,000	△ 30,000	
	(買い物エコフレンド部会)	110,000	70,000	40,000	食品用容器リサイクル店頭掲示用ポスター作成
	(5R情報発信部会)	128,000	58,000	70,000	5R情報発信用啓発品作成
	(ごみ減量学習部会)	180,000	195,000	△ 15,000	リサイクル関連施設見学・研修会、リサイクル体験教室開催
	(ごみ減量アドバイザー部会)	180,000	150,000	30,000	アドバイザー派遣 もったいないアカデミー開催
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	160,000	315,000	△ 155,000	食品ロス削減啓発品作成、減量すすむくん消耗品
	減量すすむくん基金 繰出金	50,000	35,000	15,000	
	予備費	5,000	5,000	0	
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

【特別会計】令和３年度減量すすむくん基金収支予算（案）
（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目	3年度 予算額 (A)	2年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
減量すすむくん寄付金	4,263	8,263	△ 4,000	減量すすむくん着ぐるみメンテナンス代 充当を目的として
その他収入	122,737	37,737	85,000	
繰越金	72,737	2,737	70,000	令和2年度より
繰入金	50,000	35,000	15,000	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	127,000	46,000	81,000	

支出の部

（単位：円）

科 目	3年度 予算額 (A)	2年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
着ぐるみメンテナンス費	127,000	46,000	81,000	抗菌・撥水コート適用(4・11月)
合 計	127,000	46,000	81,000	

ごみ減量・もったいないねット山形 規約

(名称)

第1条 この会は、「ごみ減量・もったいないねット山形」(以下「会」という。)という。

(目的)

第2条 この会は、市民、事業者、行政が、山形市域におけるごみの減量及び資源の再利用(以下「ごみ減量等」という。)を推進するために、共に考え、実践し、相互に協力・連携を図り、循環型社会の形成をめざす。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) ごみ減量等のための情報発信
- (2) ごみ減量等のための実践活動
- (3) その他、この会の目的を達成するための必要な事業

(会員)

第4条 この会の会員は、市民、市民団体、事業者、事業者団体及び山形市で構成する。

(入会・退会)

第5条 入会しようとする者は、入会申込書を提出することとする。

2 退会するとき、退会届を提出することとする。

(役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 幹事 10人以内
- (4) 監事 2人

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において会員のうちから選任する。

2 副会長のうち、1人は山形市のごみ減量を所管する部長が務める。

3 前条にあげる役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第8条 会長は、この会を代表し、業務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の指示により、会務を処理する。

4 監事は、会計を監査し、その結果を会に報告する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(アドバイザー)

第10条 この会に、アドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、必要に応じ会長が依頼する。

(総会)

第11条 総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

2 総会の議長は、総会出席会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第12条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催することができない。ただし、委任状を提出した者は出席者とみなす。

(経費)

第13条 この会の経費は、市の補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 会は、事業年度開始の日から総会の日までの本会予算について、前年度の収支予算に準じて執行することができる。

(議決事項)

第15条 総会は、次の事項を議決する。

(1) 規約の変更

(2) 事業計画および収支予算

(3) 事業報告および収支決算

(4) その他、この会の運営に関する重要な事項

(議決)

第16条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(役員会)

第17条 役員会は、会長、副会長、及び幹事をもって構成し、必要に応じ会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長とする。

3 役員会は、総会に付議する事項、会の運営に関する事項等を審議する。

4 役員会は、その他会長が必要と認めた事項について協議し、事業を運営する。

(事務局)

第18条 当分の間、事務局を山形市のごみ減量を担当する課に置く。

(委任)

第19条 この規約に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、役員会において別に定める。

附 則

1 この規約は、平成18年12月16日から施行する。

2 この会の設立当初の役員の任期は、第9条1項の規定にかかわらず、成立の日から平成20年総会の日までとする。

3 この規約は、平成21年5月30日から施行する。

4 この規約は、平成22年5月30日から施行する。



みんなでごみ減量・リサイクルに取り組もう!!

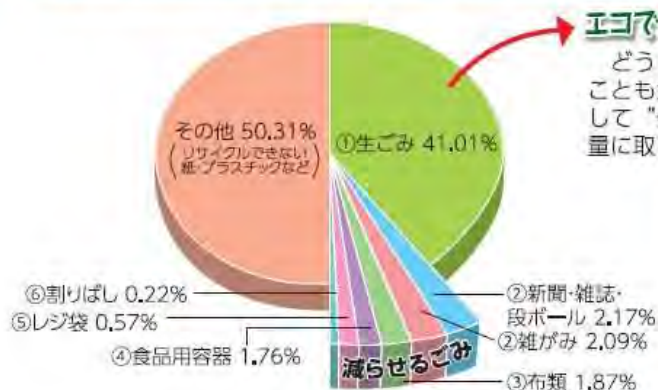
市民の皆さんのごみ減量に対する意識が高まってきたことで、古紙のリサイクルや食品用容器の店頭回収などの取り組みが広がっています。しかし、ごみの中にはまだまだ減らせるものが含まれています。もやせるごみに含まれる資源量は、令和2年11月調査で6.13%（雑がみ2.09%、新聞・雑誌・段ボール2.17%、布類1.87%）となっています。

さらなるごみ減量のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

📞 ごみ減量推進課

☎ 内線698

家庭から出されるもやせるごみの内訳（重量ベース）



エコでお得な“生ごみやさいクル事業”を利用しませんか?

どうしても発生してしまう“生ごみ”を肥料として土に戻すことも大事なポイント。電気式（乾燥式）生ごみ処理機を活用して“生ごみやさいクル”に参加し、楽しく、お得に生ごみ減量に取り組みましょう。

生ごみを電気式（乾燥式）生ごみ処理機で処理し、【乾燥生ごみ】にする

【乾燥生ごみ】を分別して1kgずつ透明袋に入れる

5ポイントたまると指定場所で500円相当の新鮮野菜などと交換できる!

指定場所で1kg当たり1ポイントがもらえる

ごみ減量のワンポイント!

① 生ごみ

水切りの徹底で生ごみの重さを減らすことができます。また、肥料として土に戻すこともお勧めです。生ごみ処理機の購入補助制度をご利用ください（詳しくは、ごみ減量推進課へお問い合わせください）。



② 雑がみなどの紙類

雑がみとは、新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙（空き箱、包装紙、パンフレットなど）です。雑がみ、新聞、雑誌、段ボールに分別して、資源回収やごみ集積所（ペットボトルの収集曜日）に出してください。



③ 布 類

ボタンやファスナーは取らずに資源回収に出してください（実施団体により取り扱わない場合有り）。また、市内17カ所の「資源物引取事業所」へ持ち込むこともできます（もやせるごみに出す場合はボタンやファスナーは取り除く）。



④ 食品用容器

スーパーでは環境に配慮した取り組みとして、食品用容器の回収をしています。食品用容器をリサイクルすると、ごみ減量効果は絶大です。透明容器や発泡トレーの店頭回収にご協力ください。



⑤ レジ袋

山形市では平成20年からのレジ袋無料配布中止の取り組みにより、スーパーでのマイバッグ持参率は約90%という高い数値です。令和2年7月から全国一律でレジ袋有料化が実施されました。スーパー以外でもマイバッグを持参するよう心掛けましょう。



⑥ 割りばし

マイ箸を上手に活用し、使い捨てのライフスタイルを見直しましょう。マイ箸以外にも、繰り返し使えるマイボトルや食器などを活用して、物を大事にする習慣を身に付けましょう。



食べ残しはもったいない！

～食品ロス削減に取り組みましょう～

「食品ロス」とは、まだ食べられる状態にもかかわらず廃棄される食品のことです。日本における食品ロスは年間約612万トン発生しており、国民一人一日あたりに換算すると約132g（茶碗1杯分）になります。

発生原因は、家庭における食べ残しや食材の余り、飲食店での食べ残し、製造過程で発生する規格外品や売れ残りとなっています（農林水産省平成29年度推計）。

「30・10運動」などを実践して、食品ロスの削減に取り組みましょう。

家庭で！

さんまる いちまる

30・10運動～家庭編～で食品ロス削減！

食品ロスの約半分は家庭から出ています！

日本における食品ロスの約半分（年間約284万トン）は家庭から出ています。この量は、世界中で飢餓に苦しむ人に向けた世界の食糧援助量（平成30年度で年間約390万トン）に迫る深刻な状況となっています。

家庭での食べ残しや食材の余りを減らすため、30・10運動～家庭編～を実践してみませんか？



10日・30日チェック!!

どんな運動？

毎月10日と30日を「冷蔵庫チェックデー」とし、冷蔵庫の中を定期的に整理整頓する習慣を作り、食品ロス削減に取り組む運動です。まだ食べられる食材を無駄にせず、おいしくいただきます！

冷蔵庫の中から食べられなくなった食品が出てきて、

「もったいない」と思いながらごみに捨ててしまう…、そんな経験はありませんか？

冷蔵庫の中にあったもので、捨ててしまったものってどんなもの？



<冷蔵庫貼付用マグネットシート>

- 食べられなくなった「ごはんのお供」（鮭フレークや海苔の佃煮など）
 - 使い切れなかった「調味料」（タレ、ソースなど）
 - 食べられなくなった「作り置きのおかず」
 - 使い切れなかった「肉・魚や野菜」（在庫があるのに忘れて過剰に購入したもの、料理の残りなど）
- どの食材も、傷む前に気付くことができれば捨てずに済んだかもしれません。例えば、食べ切れない分は冷凍保存する、冷蔵庫内の在庫を確認し過剰購入を防ぐなど、少しの工夫で食品ロスを防ぐことができます。

上記の「冷蔵庫貼付用マグネットシート」をごみ減量推進課で配布しています（数に限りがあります）。

子どもと一緒に食品ロス削減！

～食品ロス削減啓発用紙芝居をご利用ください～

食品ロス削減啓発用紙芝居「みんなでおいしくいただきます！～おさらピカピカだいさくせん～」を、市立図書館本館・各分館で貸し出しています。

保育園でのパーティーを舞台にしたストーリーで、子どもたちが食べものを作ってくれた人への感謝や資源の大切さについて学ぶことに役立ちます。

ぜひ、親子で一緒に食品ロスについて考えてみませんか。



※この紙芝居は、子どもたちのために、ごみ減量とリサイクルを推進している市民団体「ごみ減量・もったいないネット山形」が製作し、図書館や幼稚園、保育園で活用されています。